

鋼管エルボ応急補修材(インサートノズル)

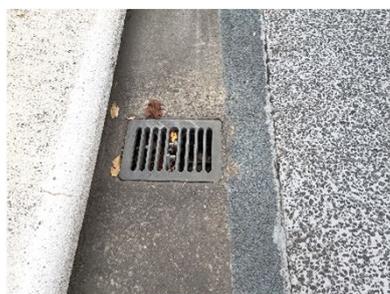
橋梁排水柵の下に設置された鋼管エルボ管は、融雪剤の影響による腐食によって穴があく現象が多数報告されています。本製品は、穴があいた鋼管エルボ管を、短時間の交通規制で補修する応急補修材です。

【特願2023-39572 鋼管エルボ応急補修装置および鋼管エルボ応急補修方法】

特徴

- 首都高速道路 附属施設物設計施工要領 第1編【排水施設編】で標準の応急補修材料として採用されています。
- 排水柵に挿入し、定着部を排水柵の底に固定させることにより、鋼管エルボの穴からの水漏れを防ぎます。
- 先端は挿入しやすいよう加工してあります。
- 定着部と排水柵は、強力なネオジム磁石で固定するので何度も利用できます。

使用状況



橋梁排水柵



鋼管エルボ



穴があいた鋼管エルボ



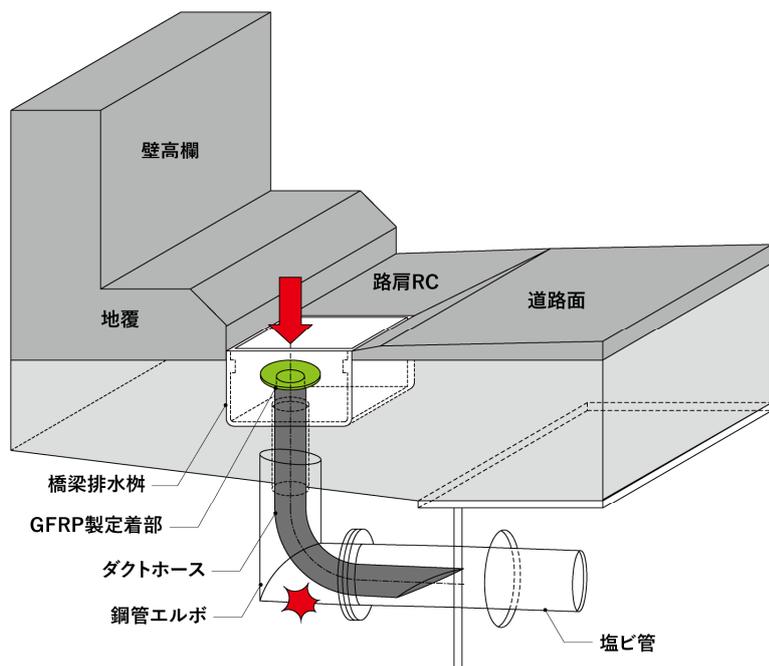
本製品挿入状況



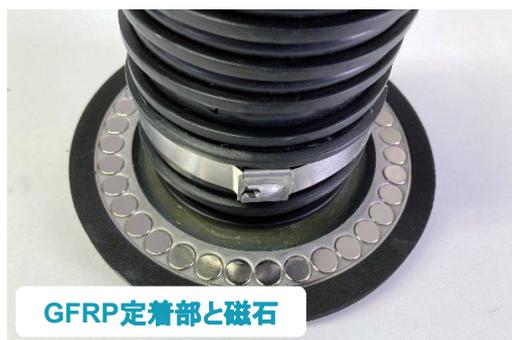
GFRP製定着部の固定状況



応急補修完了



製品写真



GFRP定着部と磁石

施工手順

① 排水柵蓋を外して清掃



清掃前



清掃後



【清掃時の注意点】

- ※ 設置範囲(赤丸部)は砂・小石などを完全に除去してください。
- ※ 断面欠損をとまなうような著しい腐食損傷が生じている場合は、パテ材の使用による不陸修正を推奨します。

② 本製品を挿入



挿入方向



挿入状況



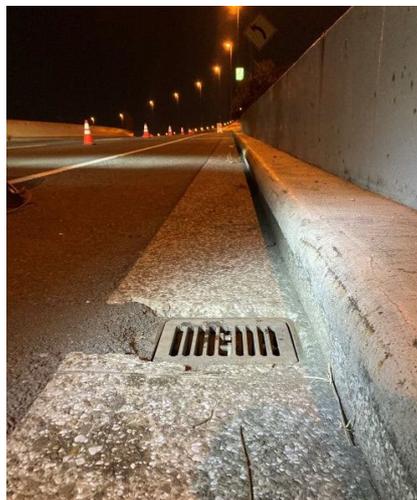
設置状況



【挿入時の注意点】

- ※ 挿入時に錆片が落下することがあります。高架下の交通規制は不要ですが、人や車がないことを確認してから挿入するようにしてください。
- ※ フランジ面の位置ラベルを道路側に合わせて挿入してください。
- ※ ホースが途中で止まってしまう場合は強く押し込まず、左右にねじ込む様に動かすと比較的容易に挿入することが可能です。
- ※ 挿入後は密着性(止水機能)向上のため、フランジ面の踏み固めなどを実施して設置してください。

③ 排水柵蓋を戻して完了



設置後状況



【再使用時の注意点】

- ※ 一定期間利用後、GFRP定着部に張り付けた止水ゴムが設計厚まで戻りにくくなる場合がございますが、その場合はゴムを交換いたします(有料)。